



「わかやま食ブランドストーリー 育むのは人と風土」 冊子が完成！

和歌山県は、江戸時代より傾斜地を活かした果樹栽培が盛んで、温暖な気候を生かして、さまざまな種類のフルーツが栽培されてきました。その種類の豊富さは、全国でもトップクラスで、年間をとおして、いつでも地元産の新鮮なフルーツを楽しむことができます。

“おいしいには理由がある”をモットーに、和歌山県産果実の魅力を、生産者への取材をもとにして、テロワールになぞらえた土壌・地形や気候などの生育環境と、農業技術の発達、生産者の思いから、「果樹王国」わかやまブランドといわれるまでの物語を冊子にまとめました。

この度、「わかやま食ブランドストーリー 育むのは人と風土」のシリーズ本として、柿、みかん、南高梅、桃、ぶどう山椒の5冊が完成しました。

和歌山ならではの食材の魅力を発信していきます。

※テロワールとは、「土地」を意味するフランス語terreから派生した言葉。その土地にまつわる地形や地質や土壌、さらに気候など全ての事象を含めてテロワールと呼んでいる。多くの農作物はテロワールによってその味や品質が大きく左右されるといわれていて、長年の歴史など文化的な側面も加味されることもある。



わかやま食ブランドストーリー 育むのは人と風土

『Vol. 1 わかやまの柿』、『Vol. 2 わかやまのみかん』、『Vol. 3 わかやまの南高梅』
『Vol. 4 わかやまの桃』、『Vol. 5 わかやまのぶどう山椒』

OWEBサイト

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/index.html>

冊子は、ホームページよりダウンロードしていただけます。



お問い合わせ先

和歌山県農林水産部食品流通課 生産者支援班 鳥居・山西
電話：073-441-2820 / FAX：073-432-4161